



The Beauty of Japanese Crafts

from Antiquity to Early Modern Times

2026年8月29日[土] — 10月18日[日]



大和文華館

——奈良・学園前——

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN | NARA · GAKUENMAE

日本工芸の美

古代から近世まで

● 休館日 月曜日(ただし9月21日(祝)、10月12日(祝)は開館し、9月24日(木)、10月13日(火)が休館)
● 開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
● 入館料 一般 630円 高校・大学生 420円 小学・中学生 無料
※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料 ※「障がい者手帳」をお持ちの方と、同伴者1名2割引
「上から」重要文化財 銅板地螺鈿花鳥文説相箱 平安時代、重要文化財 金銅蓮華形磬 鎌倉時代、赤織部寄茶碗 桃山時代、上代裂帖 飛鳥・奈良時代



日本工芸の美

— 古代から近世まで —

The Beauty of Japanese Crafts

from Antiquity to Early Modern Times

様々な素材に手仕事を加えて生み出された工芸品は、日常の生活に潤いをもたらし、信仰の場や宴の場といった特別な場に、厳かさや華やかさをそえてきました。本展では、館蔵の日本の工芸品より、やきもの、漆工品、金工品、染織品、ガラスをとりあげ、時代ごとに展示します。

飛鳥・奈良時代には中国・唐の文化の影響が色濃くみられ、平安時代には日本らしい好みが見えだしてきます。鎌倉・室町時代には文化の担い手が貴族だけでなく、武家や庶民にも広がっていき、桃山・江戸時代にはさらに幅広い層が様々な工芸品を用いるようになり、高度な技術を駆使した洗練されたものから素朴な魅力のあるものまで、様々な工芸品が生み出されました。また、室町時代後期から江戸時代には、茶の湯の文化も日本の工芸品の展開と深く結びついています。日本の工芸品をめぐる文化や美意識、技術の変遷にご注目ください。

Japanese crafts including ceramics, lacquerware, metalwork, and textiles have added color both to special occasions and to everyday life. Through this exhibition, viewers can trace changes in the techniques and aesthetics of Japanese crafts over time.

●特別講演 | 9月27日(日) 午後2時・講堂
「飛鳥・奈良工芸と色彩の神秘」
文化財活用センター主任研究員 三田覚之氏

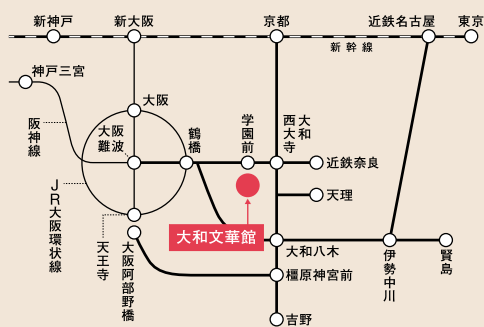
●日曜美術講座 | 10月4日(日) 午後2時・講堂
「日本の工芸品の銘をめぐる」
当館学芸部課長 宮崎もも

●講座 美術の窓 | 9月6日(日) 午後2時・講堂
連続講座「江戸後期の浮世絵」
第3回「歌川国芳…幕末の元気男」
当館館長 浅野秀剛

※いずれも定員当日先着100名(予約不要)

●列品解説 | 毎週土曜日 午後2時 当館学芸部による

●無料招待デー | 9月16日(水)



近鉄・奈良線(学園前駅)下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり



色絵おしどり香合 野々村仁清作 江戸時代



硝子蓋物 江戸時代



重要文化財 蒔絵籬菊文机 室町時代

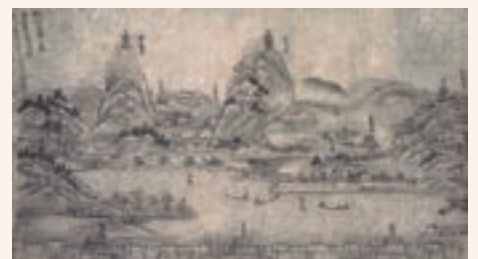
次回

特別展 地上の天堂 杭州と呉越国 —— 渡海する信仰と美

[会期]
10月24日(土)
～12月6日(日)

[前期] 10月24日～11月15日
[後期] 11月17日～12月 6日

重要文化財 西湖図
秋月等観筆 石川県立美術館蔵
室町時代・1496年



大和文華館

奈良・学園前

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6

TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929

近鉄・奈良線(学園前駅)下車 徒歩約7分

大和文華館ホームページ

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/>

✕ @yamatobunkakan

📷 @yamato_bunkakan

